

ウチナーの家

UCHINA HOUSE
沖縄県南城市

福村俊治 / team DREAM
Shunji Fukumura / team DREAM

別荘。RC造の主屋と赤瓦葺き木造の離れから成る。主屋には大きなRC底の梁かつたデッキを設け、離れには低く深い軒を設けて日射と雨を凌げる半屋外空間を設けて内外をつないでいる。
躯体は塩害を考慮しタイル貼りとしている。

の建物は、沖縄本島南部、南城市知念の久島を眺める傾斜地の麓に建つ。シナ海に浮かぶ亜熱帯の沖縄(ウチナー)は、中温暖で、青い空・碧い海・濃い緑の素晴らしい南国の自然がある。そして、かつての琉球王国時代の伝統文化が今なお引き継がれている。主は長年那覇市に住み、マスコミで忙しく働いてきた。沖縄のような小さい島であっても都会生活は、経済性や機能性ばかりで、もはや「沖

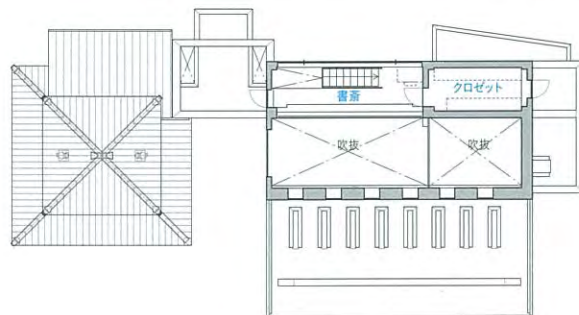
縄らしさを感じる空間が少なくなった。リタイアした建主は残された人生を沖縄の自然の中で生きることを思い立ち、この知念に土地を求めた。そして自分たちの子供や孫、知人や友人を招き、地元沖縄の風土と人生の素晴らしさを語るための住まいを望んだ。建物が自己主張をしないように心がけて設計した。かつての沖縄の民家の二棟造りに準じて、RC造の主屋と赤瓦葺木造の離れを対比的に並べた。その主屋には大きなRCの庇が架かった

木デッキ(10×4m)のテラス、離れには深く低い軒のある雨端(縁側)を設け、建物前面を外部に開いた。この2カ所の半戶外空間は、沖縄の強い陽射しと雨から室内を守るために大切な建築の仕掛けであると同時に生活の中心の場となる。つまり、日常の家族の食事や団らん、接客、時には人びとが集まるパーティーも行なわれる。ここに佇んでいると、この住宅を取り巻く広大な自然の様相が光や風によって刻々と移り変わるのを体感できる。そしてそれは内部空間にも及び、赤瓦葺木造の離れではクラシックに、RC造の主屋ではモダンな空間を感じることができる。この住宅を訪れる人びとがこのふたつの「心地よい沖縄」を体験し、心動かされることを目指した。沖縄の自然は素晴らしい。しかし、時には厳しく、陽射しや雨や風も意外と強い。だけど、この広い雨端空間を介すると、心地よいものとなる。この空間こそ沖縄の空間であり、今、忘れられつつある沖縄の伝統的住まいの知恵である。

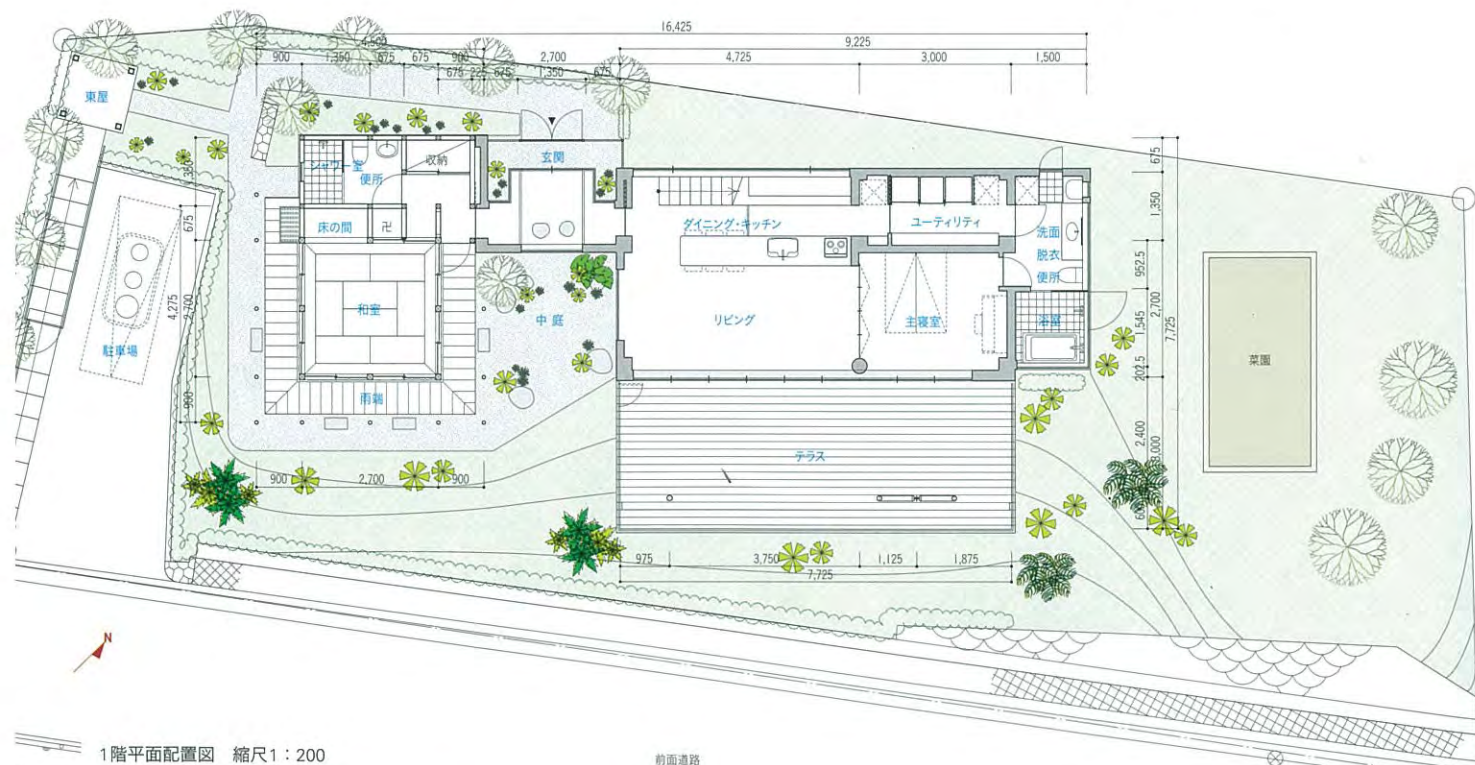
(福村俊治)



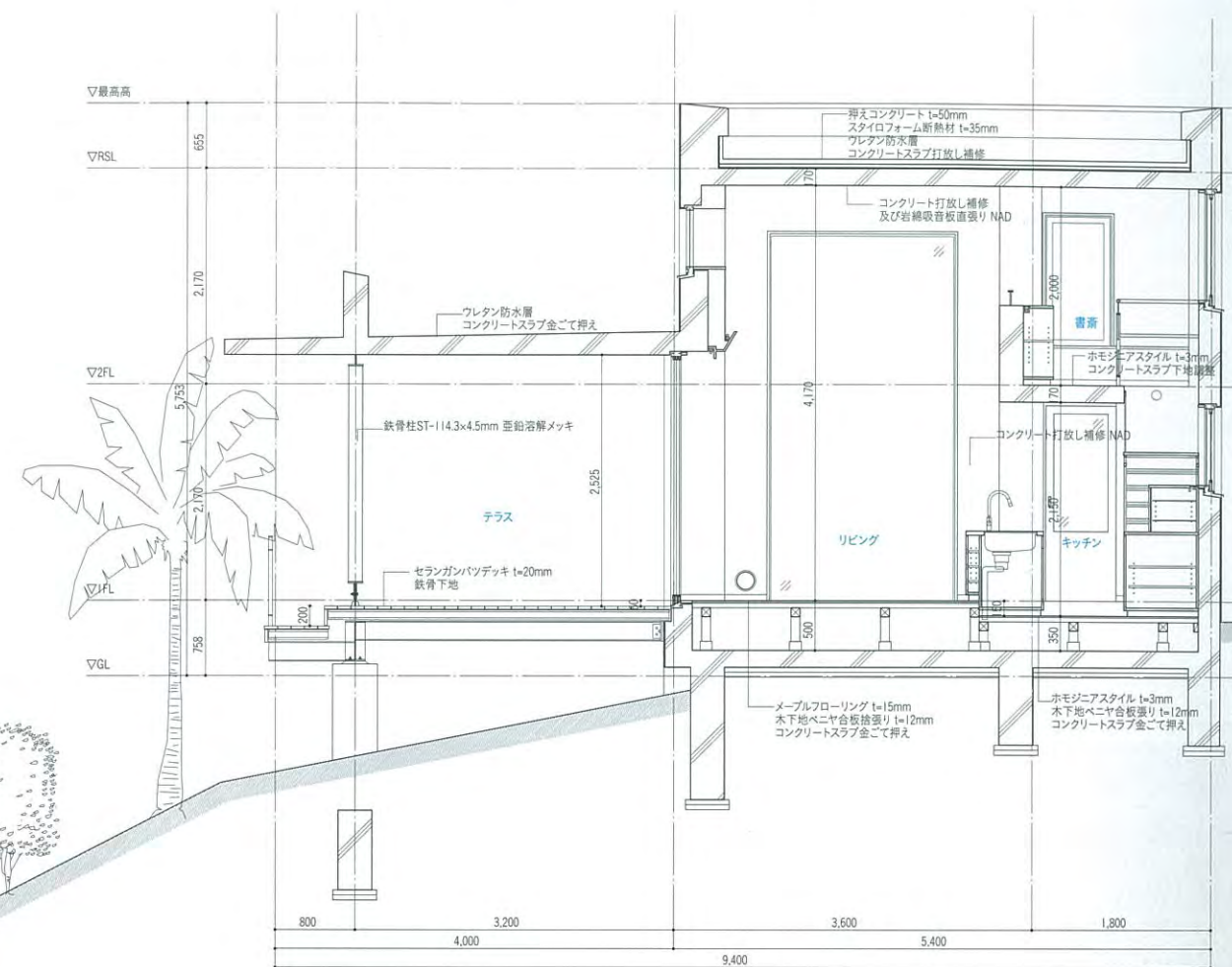
ダイニングキッチン背後からは裏山を望む。階段を上るとリビングに面する書斎となり、真右奥の扉の向こうはクロゼットになっている。



2階平面図 縮尺1:300



1階平面配置図 縮尺1:200



主屋断面図 縮尺1:75



リビングから主屋を見渡す。デッキを覆う庇(10×4.5mm)にはスリット状にトップライトを、また南壁面上部にはハイサイドライトを設けることで十分な明るさを確保している。リビングの天井高さは4,170mm。

ウチナーの家

所在地 / 沖縄県南城市
主要用途 / 専用住宅
家族構成 / 夫婦

設計

team DREAM

担当 / 福村俊治 具志好規

構造 / 金箱構造設計事務所

担当 / 金箱温春 坂本憲太郎 上田学

施工

建築 / 郷建設 担当 / 伊豆味正史

設備 / 共同工業 担当 / 新垣利紀

電気 / 光電気工事 担当 / 依田廣

造園 / 赤嶺総合造園 担当 / 伊敷行正

構造・構法

主体構造・構法 主屋：鉄筋コンクリートラ

メン構造 一部鉄骨造 離れ：木造

基礎 主屋：鋼管杭基礎 離れ：べた基礎

規模

階数 地上2階

母屋 / 軒高 5,100mm 最高の高さ 5,750mm

離れ軒高 2,600mm 最高の高さ 4,700mm

敷地面積 584.34m²

建築面積 144.60m²

(建蔽率24.75%)

延床面積 134.25m²

(容積率22.97%)

1階 113.43m² 2階 20.82m²

工程

設計期間 2007年3月～2010年3月

工事期間 2010年3月～2011年3月

敷地条件

地域地区 都市計画区域外(建設当時)

道路幅員 南東4.5m 駐車台数1台

外部仕上げ

屋根 / 主屋：コンクリート下地ウレタン防水ス

タイロフォーム断熱材の上押えコンクリート

t=50mm 離れ：木下地アスファルトルー

フィングの上赤瓦葺き琉球漆喰押え

外壁 / 主屋：コンクリート下地補修の上

47mm角タイル貼り 離れ：木下地スギ板

下見張り

開口部 / 主屋：アルミサッシ

離れ：木製障子・雨戸

外構 / 琉球石灰岩砂利敷 芝張り 木造東屋

琉球石灰岩張りヒンブン

テラス / 鉄骨下地セラランガンバツデッキ材張り

内部仕上げ・使用機器

リビング・ダイニング・キッチン・寝室

床 / メーブルフローリング張り t=15mm

壁 / コンクリート打放し補修 NAD

天井 / コンクリート打放し補修及び岩綿吸音

板直張り NAD

厨房機器 / 造付流し台

換気扇(シェード) / 造付けSUSフード

家具 / 造付け食器棚

照明 / NIPPOシームレスライン

シンク水栓金物 / GROHE

離れ和室

床 / 畳敷き

壁 / 琉球漆喰塗り

天井 / 小屋裏現し

設備システム

空調 暖房方式 / ヒートポンプ式エアコン

給排水 給水方式 / 上水道直結

排水方式 / 合併処理浄化槽

給湯 給湯方式 / 電気温水器

撮影 / 新建築社写真部

上：主屋のRC底下空間。壁面からキャンティレバーでもち出し、V字の鉄骨柱で縁側上部のRC梁を3カ所で支え、足下を開放的にしている。／下：木造離れ。耐力壁のない開放的な木造建築を実現するため、独立柱を床下と欄間で固めて曲げ強度を高める構造になっている。



リビングより木造の離れを見る。